

「日本化粧品検定2級・3級対策テキスト(2016年4月30日 第1刷/2016年5月31日 第2刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P88上段 <くすみのタイプ別・原因とお手入れ方法> 角質肥厚型

誤) プロアテーゼ → 正) プロテアーゼ

お手入れ方法と効果的な成分	
お手入れ方法	ピーリングや酵素・スクラブ洗顔、ピールオフパック、ふきとり化粧水などで、余分な角質を取り除く（肌が極度に乾燥、アレルギーのある場合はこれらのお手入れは避ける）
効果的な成分	ピーリングの成分はAHA（アルファヒドロキシ酸）である乳酸、リンゴ酸など。酵素はパイン、 <u>プロアテーゼ</u> など

正) プロテアーゼ

[正誤表]

・P135上段 <カフェインとのつきあい方>

誤) 血液収縮作用 → 正) 血管収縮作用

<カフェインとのつきあい方>

正) 血管収縮作用

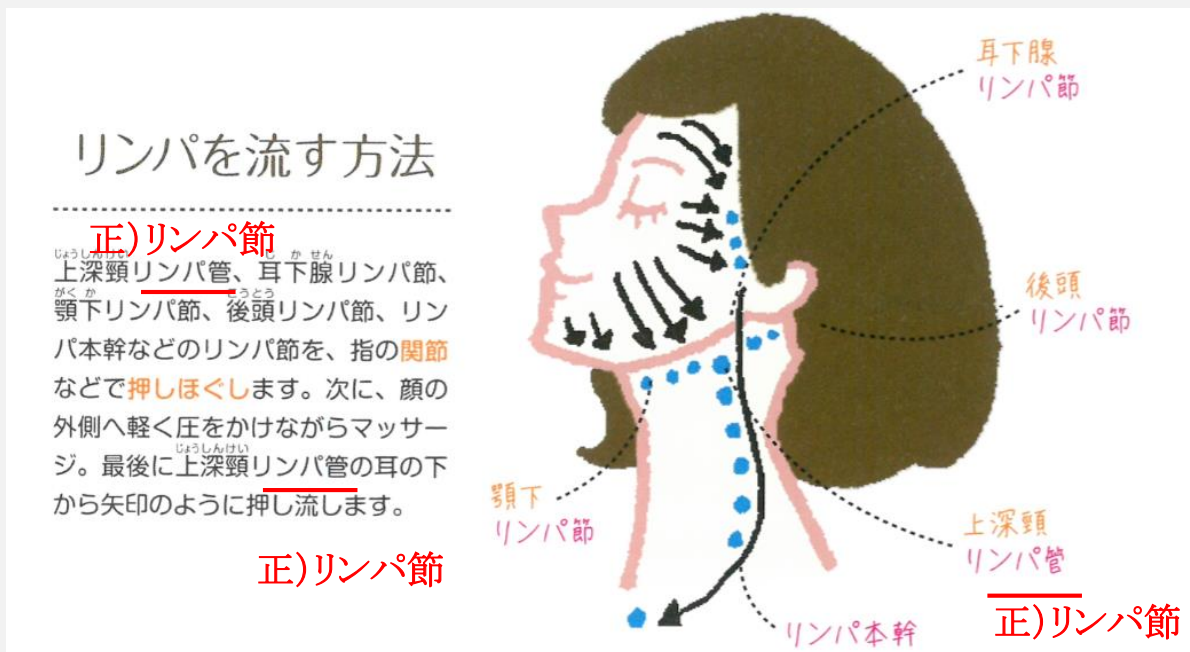
コーヒーや紅茶、緑茶などに多く含まれるカフェイン。神経を興奮させ、血液収縮作用もあるため、とりすぎは身体にも肌にも悪いのです。カフェインを含むものは1日に2杯を目安とし、就寝前は避けましょう。栄養ドリンクにも入っていることが多いので注意して。

「日本化粧品検定2級・3級対策テキスト(2016年4月30日 第1刷/2016年5月31日 第2刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P128 <リンパを流す方法> イラスト内表記
誤) 上深頸リンパ管 → 正) 上深頸リンパ節



[正誤表]

・P139 6 解答
誤) 活性酵素 → 正) 活性酸素

6 米国皮膚科学会による発表では肌老化の約何%が紫外線によるものとされているか。

1. 30% 2. 50% 3. 80% 4. 98%

【解答】 3

米国皮膚科学会では、肌の老化の約80%は紫外線による光老化であるといわれている。紫外線を浴びると皮膚の中で活性酵素が発生し、細胞にダメージを与え活動を弱め、コラーゲン線維・エラスチン線維なども破壊するため、肌が乾燥してゴワゴワしたり、しわ・たるみを生じやすく肌の老化を促進させる。

正) 活性酸素

「日本化粧品検定2級・3級対策テキスト(2016年4月30日 第1刷/2016年5月31日 第2刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P43 <全身の部位で違う経皮吸収率>

文中

誤)前腕屈側(二の腕の内側)の → 正)前腕屈側の <(二の腕の内側)を削除>

図中

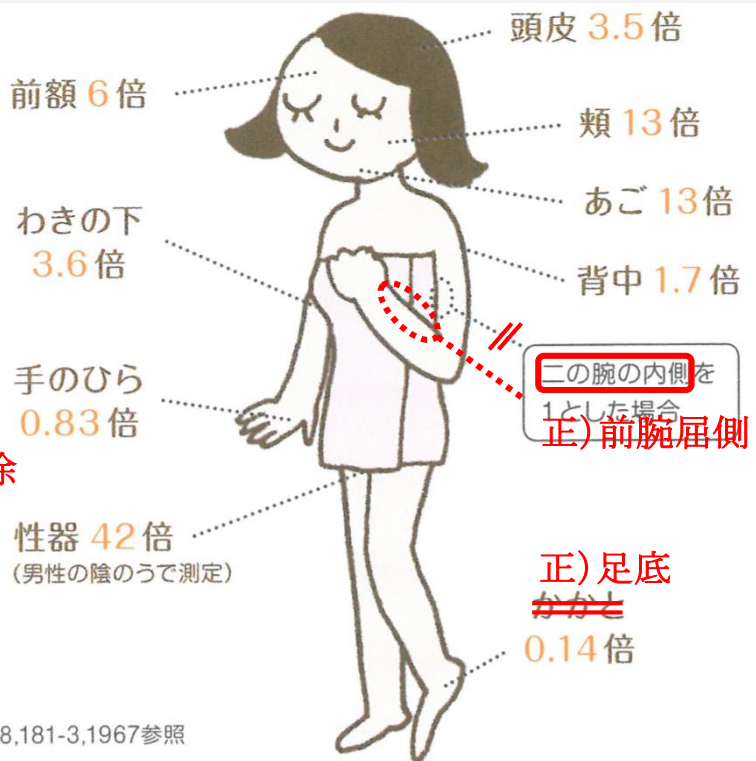
誤)二の腕の内側 → 正)前腕屈側

誤)<引出線の位置>二の腕の内側に向かう → 正)前腕屈側に向かう

誤)かかと → 正)足底

全身の
部位で違う
経皮吸収率

皮膚は場所により角層の厚さが違うため、化粧品や外用薬などの吸収率に差があります。前腕屈側 ~~二の腕の内側~~ の吸収量を1とした場合、前額ではその6倍、性器では42倍になります。



*Feldman RJ,et al.,J.Invest.Dermatol.,48,181-3,1967参照

[正誤表]

・P44 <背中ニキビはしっかりこすって洗うべき?>

誤)背中では顔よりも皮脂腺が多いため → 正)背中では皮脂腺が多いため(顔よりもを削除)

× 背中ニキビはしっかりこすって洗うべき?

ゴシゴシこすると角質が毛穴に落ち、逆にニキビの原因となる可能性があります。背中では顔よりも皮脂腺が多いため、皮脂をしっかりと落とせる洗浄力

削除

「日本化粧品検定2級・3級対策テキスト(2016年4月30日 第1刷/2016年5月31日 第2刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P81 <ニキビ跡のお手入れ方法>

誤)詳しくは本書P70参照 → 正)詳しくは本書P86, 87参照

< ニキビ跡のお手入れ方法 >

1 赤みが残ったら

治っても赤みが残った状態。**ビタミンC誘導体**や**抗炎症効果**のある成分を配合した化粧品や**イオン導入**が効果的。

2 シミが残ったら

炎症後色素沈着によるシミです。日焼けすると消えにくくなるので、紫外線対策を。**美白化粧品**や**ピーリング**が効果的。

3 クレーターが残ったら

化粧品では限度があるので、医療機関での**ケミカルピーリング**、**レチノイン酸**の塗り薬、**レーザー**を使った治療などもあります。



※詳しくは本書 **P70** 参照

正) P86, 87

[正誤表]

・P85 m-トラネキサム酸、カモミラETの効果

誤)メラニン生成・指令阻止 → 正)メラニン生成指令阻止

m-トラネキサム酸

(トラネキサム酸)

もともとは抗炎症剤として使われていたトラネキサム酸を、美白成分として開発したもの。

効果→ **抗炎症・メラニン生成・指令阻止**

正)メラニン生成指令阻止

効果→ **チロシナーゼ活性阻害**

カモミラET (カミツレエキス)

ハーブのカモミールに含まれる成分。抗炎症作用をあわせもつ。成分名はカミツレエキス。



効果→ **抗炎症・メラニン生成・指令阻止**

正)メラニン生成指令阻止

「日本化粧品検定2級・3級対策テキスト(2016年4月30日 第1刷/2016年5月31日 第2刷)」に誤植・誤掲載箇所がありました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P118 <月経(生理)周期とホルモンの関係>

誤) 交替期 → 正) 黄体期

